



新春 恒例 どんど焼き

1月10日(日)

晴天のもと、笹野台北公園で恒例の年頭行事「どんど焼き」が行われました。

大勢の家族・地区役員・来賓の方の見守る中、粕谷さんの太鼓の音を合図に、

高く積まれた薪山に、各子供会代表の年男・年女の子どもたち12名が一斉に点火しました。白い煙とともに真っ赤な炎が晴れ渡った冬空に力強く立ち上り、皆さんの歓声が湧き上がりました。甘酒・豚汁にグラウンドを半周する行列ができ、かまどではお団子を焼く子どもたちの賑やかな声が弾み、暖かい日差しの中で楽しいひと時を過ごしました。

近隣の皆様のご理解と社協・自治会役員の皆様のご協力に厚く感謝致します。

新年賀詞交歓会

1月17日(日) 笹野台地区連合自治会



平成28年笹野台地区連合自治会の賀詞交歓会が、笹野台地域ケアプラザで午前11時から開催されました。濱旭区長、橋野旭警察署長、佐々木旭区連合自治会町内会連絡協議会会長はじめ、近隣連合自治会長の皆様や行政、学校関係者、笹野台地区各団体の代表者など多数の方々の参加を得て、盛大に開催されました。



皆様、和やかな雰囲気の中で和気あいあいと楽しいひと時を過ごされました。

防災研修会

2月14日(日) 笹野台地区連合自治会

午前9時30分～12時、笹野台地域ケアプラザで地域防災拠点運営委員と拠点要員の方を対象に、(株)タフ・ジャパンの鎌田先生を講師にお招きして防災研修会を開催しました。

鎌田先生は横浜市消防局に勤務され、消防大学の訓練講師等を務めた方です。

鎌田先生から防災・減災のためには人の絆が不可欠、協力し合う中で災害に対処できる。公助・共助・自助と言うが、他助(他人を助ける)の気持ちもとても大切。また、人はダメと思うと半分の力しか出ないが、出来ると思うと倍の力が出る。他の組織との連携を図ってより良い結果を作っている実例など、実践にそくした内容の研修でした。

春の嵐の中106名の方が参加しましたが、皆さん熱心に聞き入っていました。





平成27年度 連合・社協 活動振り返り

笹野台新報社社長 近藤 和義

皆さん、こんにちは。

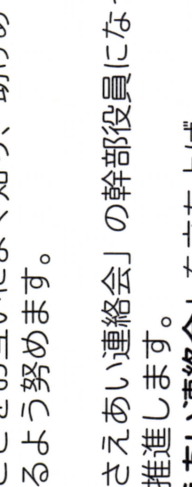
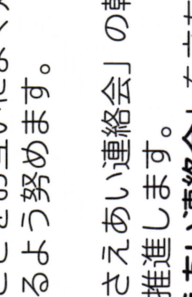
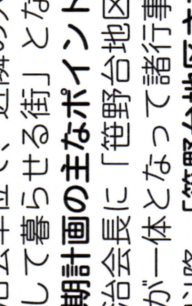
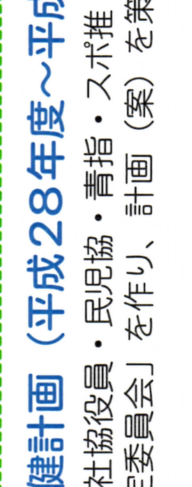
地域情報誌「ささのだいニュース」も誕生してから4年になりました。

4年目の今年は地域の各種団体の活動状況、自治会・社協の諸行事、地域の皆さんが参加された特集記事、地域ケアプラザ・商店街・笹野台小・希望中のニュースのほかに、「住民の広場」では自治会長さんの筆により各自治会の状況を紹介して頂きました。

いかがでしたか？

今年も「文字を大きく、写真を多く、読みやすく」に重点を置き編集しました。「笹野台地域ケアプラザの運営」、「ホームページささのだいの充実」も軌道に乗り、順調に進展しています。「第3期地域福祉保健計画」策定も終わり、4月からは実施が始まります。地域の皆さんが色々な情報を知り、気心の知れた隣人となり、地域のつながりももっと強くなるよう、本誌もお手伝いを続けます。

「明るく住みよい街づくり」に力を合わせて前進しましょう。
今年も皆さんからの投稿をお待ちします。



第3期地域福祉保健計画（平成28年度～平成32年度）策定おわる

当地区では、自治会役員・社協役員・民児協・青指・スポ推・子供会・老人クラブから代表者1名を選び、「福祉保健計画策定委員会」を作り、計画（案）を策定しました。

目指す地区の姿

自治会単位で、近隣の人のことをお互いによく知り、助けあって「住みよい街」「明るい街」「安心して暮らせる街」となれるよう努めます。

第3期計画の主なポイント

自治会長に「笹野台地区ささえあい連絡会」の幹部役員になって頂き、自治会・社協・ケアプラザが一体となって諸行事を推進します。

4月以降、「笹野台地区ささえあい連絡会」を立ち上げ、

1. 第2期で定着した事業の推進（個別支援・笹野台昼食会・子育てサロン）
 2. 支えあいマップの作成、ご近所の高齢者の見守り
 3. 障がい者の把握および対応の準備
 4. ボランティア不足への対応、発掘と育成
- をはじめます。皆様の絶大なご協力をお願いします。



住民の広場 今年度は、笹野台地域の各自治会をご紹介します。 今回は、「露木ヶ丘自治会」と「向日葵自治会」です。

露木ヶ丘自治会は笹野台3丁目にある、第二公園を拠点とし、夏にはお神輿祭り、冬には餅つき大会を開催するなど、地域活性化に取り組んでいます。利用してくれる人のために、日々美化にも努めています。

毎年笹野台小学校で行われる連合運動会では、会員全員がひとつになり、全力で戦う仲良しの会です。露木ヶ丘の素晴らしいところは、役員でなくても自ら手伝いたいと、自治会を盛り上げてくれる人がたくさんいるところです。

そんな露木ヶ丘自治会も創立50年を迎えました。最近では新しい世帯も増え、会員数も毎年少しずつ増えていきます。これからも地域一明るく元気な頼れる自治会づくりを目指していきます。

自治会長 吉田 浩幸



向日葵自治会のロケーションをご存知でしょうか。露木ヶ丘、境友、楽老峰各自治会と追分市民の森に東西南北囲まれています。250世帯、世帯数でいえば13自治会の9番目で、ほどよい規模でしょう。

平成27年度も3大イベント（夏祭り、体育祭、餅つき大会）を中心に、自治会、子供会、同好会が和気あいあいと活動に参加し交流しました。平成27年度連合体育祭は子供会の頑張りもあり、5位という私たちにとっては、望外のうれしい成果を挙げました。地道ながら、自治会に活気がみなぎってきました。

3年目になる同好会・サークル活動はとみに活動の実績と幅を広げており、会員間の親睦・交流は自治会を明るくまた心強くしております。

自治会長 喜多 昭夫



旭区スーラシア駅伝 1月30日(土) 消防団第4分団第6班



寒空の下、消防団第4分団第6班にとって新年恒例行事となりつつある旭区スーラシア駅伝に笹野台小学校の教員2チーム、生徒たち7チームと共に参加しました。過去最多となる365チームの参加で、応援団も駆けつけ大盛り上がりの1日となりました。

日頃から走り込んでいるメンバーもいれば、ぶっつけ本番でこの日を迎えたメンバーも、でも全員が襷を繋ぐという使命感をもって、無事完走することができました。強くなった団結力と地域の皆様のご声援を力に変え、日々の訓練も頑張っ

第5回 きらっとあさひ福祉大会 2月13日(土) 旭公会堂

濱旭区長、佐々木旭区連会長はじめ各連合自治会・町内会長ほか多数の来賓の出席のもと、平成27年度旭区社会福祉功労表彰式に続いて、上白根地区・今宿地区・さちが丘地区・二俣川地区の第2期地域福祉保健計画取組み発表が行われ、内海 宏コーディネーターの講評がありました。どの地区も色々と工夫を凝らし、「安心して住み続けられる街」づくりに注力していることがよく分かりました。館内では、地域活動のパネル展示、障がい者地域作業所自主製品（手作りお菓子や手芸品など）の販売、区内の福祉活動団体の紹介、喫茶コーナーなどがあり、昨年以上の活況を呈していました。



地区の主な行事（～6月）

4月17日(日) 連合自治会・社協定期総会	笹野台会館	5月22日(日) 成人男子ソフトボール大会	希望ヶ丘中
5月8日(日) 連合・社協合同研修会	緑地公園	6月5日(日) 緑地・北公園美化清掃活動	緑地・北公園
5月15日(日) 成人女子ソフトボール大会	北公園	6月26日(日) 笹野台タウンミーティング	笹野台会館

編集後記

平成27年度最後のささのだいニュースはいかがでしたか？新企画シリーズ「住民の広場」は今号で8自治会の紹介が終わりました。各自治会の取り組みと共に、自治会の役員や皆さんが地域を大切に思い、住みよい町にと奮闘されている様子を感じられました。あなたの自治会はもう紹介されましたか？まだの自治会は次号お楽しみにお待ちください！一年間、ご支援ご協力頂きありがとうございました。

平成28年度は、あなたの声、あなたの手をお待ちしております！

近藤 江口 太田 大田 荒木

